



〒892-0841 鹿兒島市照国町13-42 カトリック鹿兒島教区 電話099(26)5100 振込口座 02030-2-8359 編集発行 教区広報部



### 今秋開催の教区評議会のテーマ決まる

## みことばに触れ、食べ、生かされる

四月十四日(月)に教区本部で開かれた「司祭評議会」で今秋十月に鹿兒島本土と奄美大島の二か所で開催される教区評議会のテーマが討議され、「みことばに触れ、食べ、生かされる」に決まった。

評議会の議題とも言えるテーマ「みことばに触れ、食べ、生かされる」は、今秋ローマで開催されるシノドス(世界代表司教会議)のテーマ「教会の生活と宣教における神のことば」に沿ったもの。

司祭評議会での話し合いでは、祈りや秘跡にあずかっていても、神ご自身が

### 総会で休会を承認

#### 鹿兒島カトリック女性信徒の会

鹿兒島カトリック女性信徒の会第十四回総会が四月九日(水)ザビエル教会一階ホールで開かれ、この総会で会の休会を決めた。理由

計報告の後、今後のあり方について話し合われた。平野博美会長は「これまで十四年間、女性信徒の会主催で、毎年、教会巡礼や黙想会、また教区行事への協力、糸永司教の読書会(月一回)、中野神父の勉強会(月一回)をやってきた。それぞれに喜ばれてきたと思う。しかし、女性信徒の会主催の行事を支えるメンバーが限られてきた事実がある。それは、教会や社会



の女性信徒の活動分野が広がっているという現実があり、事実、それぞれ自分に見合った分野で奉仕している」と語った。

### 標語とロゴ決まる

#### 一八八殉教者列福

ペトロ岐部と一八七殉教者列福式実行委員会(委員長・高見三明長崎大司教)は、十一月二十四日(月)の列福式に向けて、標語とロゴを決定しこのほど発表した。これは「標語・ロゴ選定部会」が昨年十二月から一般公募していたもので、採用された三つの標語は以下の通り。

## 新風

人類が初めて宇宙から地球を眺めたのは一九六一年でした。ソビエト連邦のガガーリン宇宙飛行士は「地球は青かった」と、その時の印象を語りました。偉業をなしたガガーリンに祝典の席でロシア正教のモスクワ総主教が尋ねました。

「宇宙を飛んでいるとき、神の姿を見ましたか？」  
ガガーリンは答えました。「見えませんでした」  
すると主教はいいました。「わが息子よ、神の姿が見えなかったことは自分の胸だけに収めておくように」と。

## 神の存在と私たち

次にフルシチョフ首相も彼に同じ質問をしました。総主教との約束を思い出したガガーリンは先ほどとは違ふうに「見えませんでした」と答えました。すると神の存在を信じない立場の首相は、「同志よ、神の姿が見えたことは誰にも言わないように」と言ったそうです。(ウキペディア、ユーリイ・ガガーリンの項参照)

「あなたの天を、あなたの指の業をわたしは仰ぎます。月も、星もあなたが配置なさったもの。そのあなたが御心に留めてくださった。あなたは人間のなのではない、神の子は何ものなのではない、あなたが願ひてくださるとは、神

の力によって天地万物の神秘が解明されること、人類の幸せとが結びつくことが大事であり、そうでなければ宇宙開発も意味がありません。なぜなら、宇宙開発の背景には米ソ間の軍事力増強競争があったからです。

に僅かに劣るものとして人を造り、なお、栄光と威光を冠としていだけ、御子によって造られたものをすべて治めるようにその足元に置かれました。」(詩篇8:4-7節)

キリスト教の中心課題はあくまでも人間の救いです。ただし、復活したキリストによって欲望の虜から解放された人間です。天地創造の神の意思に背いた人間ではなく、神の意思に従順であったキリストに倣う人間です。そうして初めて人間はこの地球の真の管理者になれるのです。(H・N)

### 記念誌編纂のため 資料収集にご協力を 献堂百年を迎える瀬留教会

今年の十二月献堂百年を記念する瀬留教会(末吉卓也神父)では、この節目を新たな第一歩とするため聖体行列や記念ミサ、お告げの鐘の設置など記念事業を計画している。

その中の一つに「記念誌」の発行があり、現在、編集作業に取り掛かっている。その記念誌をもっと充実したものにしたと考えている編集スタッフは、同教会にまつわる資料の提供・協力を呼びかけることにした。

戦前の教会や宣教師の写真、新聞記事、記念の品々などを所持している方で、貸出や紹介ができる方は、ぜひ瀬留教会まで一報を(☎& 栞)九九七-六二二(二〇四五)！ 締切は六月十五日(日)

**YET** 健康ブームか？ コンビニやテレビのCMで体脂肪が云々など「健康」をうたい文句にした食料・飲料を見かけることが多くなった。そういえば最近ではメタボリックシンドロームなんて言葉も聞く。そしてその検査まで始まったとか！ ▼要は過剰に摂取された栄養分が蓄積された内臓型肥満は高血糖や高血圧、高脂血症の誘因、また動脈硬化へつながるといふことらしい。男性で腹囲八十五cm以上、女性だと九十cm以上が、メタボリックシンドロームの診断基準の一つだという。そろそろ気をつけなくては... ▼体に障害を持つ未信者の友人が久しぶりに教会にきた。その日のミサでの説教は「すべては神の栄光が現されるために起こる」との内容。友人は「初めて自分の不自由さを受け入れることができた」と説教を喜んだ。そしてその後に説教の主なモットーが「エツト(それでも...)」であること、だから少々の不自由さをも楽しんですらいると説明した▼すると彼(実は、せり出てきたお腹を引っ込めようと最近、ダイエットを始めたら)が一言、「長年のモットーがそうなら、信者の生き方は無駄なものこそぎ落とすことかな？ ならばこれこそ大きなエツト。大(ダイ) エツトだね。いつもつまらない駄洒落を連発の彼だが、この日だけは不覚にも「うまい。ありがとう」と言われてしまった。

【三面に関連記事】

# キリストの呼びかけを聞く

1 ※参加者を温かく迎える  
 ※主をお招きするための祈り

※リーダーによる説明 (15分)、今日の講座の流れを説明  
 ・分ち合いのルールについて  
 ・三人以上のグループにならないようにする。

中央の小さなテーブルの上に教会の写真(何枚か用意)、ローソク、十字架、テーブルを中心に円形に着席。

(ゆつくりと間をおいて二回読まれます。)

『わたしの家は長崎のごく普通の家庭で、菩提寺はありませんが、特に信仰熱心というわけではありません。幼少の頃から活発で、どちらかといえば、人を押しつけてでも前に出るタイプの子どもだったと思います。こんな自分がミッシェン校に通う中で「絶対的」価値観に目覚め、洗礼を受ける決心をしました。

カトリックの教えが私にとって単なる「良い教えの中のひとつ」で終わらなかつたのは、私が出会った様々な人々※が、この教えに賭けて生き、この教えの先にある「救い(より良い生き方)」を示してくれたからに他なりません。

私は聖書のみことばの内容と同様に、それを実行している人々の生きざま・損得を超えた価値観を見て感銘を受け、奮い立ってその

行列に加わったのです。その先頭にイエス・キリストがいらっしゃることを信じて。そして今度は自分が家族や友人、その他大切な人を引き寄せることが(一言葉や態度ではなく姿勢で)できたらと願ひ、日々を送っています。』

※教皇ヨハネ・パウロ二世。中学二年の時来日。日本語のメッセージ。吹雪のミサ。

## 北薩地区宣教奉仕者

### (信徒使徒職)養成講座⑥

出水教会主任司祭 大松正弘

・パウロ書院のシスター  
 ・しおりの『あなたをしあわせをお祈りします』の言葉。

・担任の先生・神父様・ポストランの同級生。  
 ・聖コルベ神父様や殉教者 人の身代わりとなつて自分の命を投げ出す。

新約聖書「新解約」一コリント十三章「愛は寛容であり、愛は親切です。」

問ひかけ(まず五分間それぞれ自分を振り返り、必要に応じてメモしてください)

彼がキリスト信者になりたかと思つたのはどんな理由からでしょうか?

※小グループに分かれての分ち合い。自分の生き方と照らし合わせて(各問ひかけについて10分、全体では30〜40分)

※質問は一つずつ、分ち合いと報告をしながら進んでいきます。

マタイ四章12節〜22節を讀んでみましょう。

「イエスは、ヨハネが捕らえられたと聞き、ガリラヤに退かれた。そして、ナザレを離れゼブルンとナフタリの地方にある湖畔の町カファルナウムに来て住まわれた。それは預

言者イザヤを通して言われていたことが実現するためであった。

15 『ゼブルンの地とナフタリの地、湖沿いの道、ヨルダン川のかなたの地、異邦人のガリラヤ、暗闇に住む民は大きな光を見、死の影の地に住む者に光が差し込んだ。』

17 そのときから、イエスは、『悔い改めよ。天の国は近づいた』と言って。宣べ伝え始められた。18 イエスは、ガリラヤ湖のほとりを歩いておられたとき、二人の兄弟、ペトロと呼ばれるシモンとその兄弟アンデレが、湖で網を打っているのを御覧になった。彼らは漁師だった。19 イエスは「わたしについて来なさい。人

間をとる漁師にしよう」と言われた。20 二人はすぐに網を捨てて従った。21 そこから進んで、別の二人の兄弟、ゼベダイの子ヤコブとその兄弟ヨハネが、父親のゼベダイと一緒に、船の中で網の手入れをしているのを御覧になると、彼らをお呼びになった。22 この二人もすぐに、船と父親とを残してイエスに従った。」

① 司会者は次のことばをゆつくりと祈るように三回繰り返します。

「わたしについてきなさい。わたしについてきなさい。…」

3 祈り(自分を神の前に置き、振り返る。10〜15分。サダナの祈りによる)

今日の一日、何がありましたか?

なぜ、あなたはキリスト者なのでしょうか?

あなたは誰からの呼びかけに応えたのでしょうか?

わたしが洗礼を受けることを決めたのでしょうか?

それとも、わたしを愛してくださる方から招かれたのでしょうか?

わたしたちが神様を慕い憧れるようになったのは、復活されたキリストが送ってくださった聖霊の導きのよるものではないでしょうか?

② イエスは自分の後についてくる人にどんなことを求められましたか?

5分ほどの沈黙のうちに17節と22節を讀み、新しく発見したことを隣同士で分かち合ひましょう。

③ イエスはわたしたちにも「わたしについてきなさい」と呼びかけておられます。イエスに従おうとするならばわたしたちは何を捨てなければなりませんか?(隣同士での分かち合いと全体での発表)

2 リーダーによるまとめ。内容についての質問やコメントが出され長くなることもあります。(10〜15分)

司教執務室 便り

## 街角の聖域

ザビエル教会の掲示板。墨字で清書されたみことば。時々立ち止まって読む。しかし、人が立ち止まってい

るのを見たことがない。歩きながら横目で読んでくれているのかもしれない。実際のところどれほどの人が読んでくれるのか知りたいたいと思ったりする。

違う話になるが、ある日の機内。「最近、携帯をフオーマにかえ、母親との会話を楽しんでいる孝行娘です。ご注目ください。」

男性の場違いな前口上に殆どの乗客が一斉に顔を上げた。救命胴衣着用の説明直前、出番を待つ女性乗務員が照れるでもなく自然体で直立していた。思わず破顔一笑。

「誰も聞いてくれないのに、毎回機械的説明を繰り返すのは空しい。」そんな

不満が持ち上がったのかも知れない。そして、妙案が浮かんだということなのか。そんな想像を巡らしながらまたも新聞に視線を戻した。

たかがアナウンス。だが、アナウンスは「告知」と広辞苑にある。重たい響きがするのは、「福音の告知」を連想させるからかもしれない。空港の動く歩道でい

つも耳にする「お子様連れの方はお手を離されないうちにお願ひします」など全く不要と思える「告知」の多い中で、黙々と「福音の告知」を続ける教会の掲示板。声はしないが、み言葉

を清書する人の気持ちを感じながらしばし佇めば気持ちちはもう聖時間。

最近行く教会の多い東京の日本カトリック会館お隣の潮見教会の掲示板。や

はり立ち止まって二三分。「あなたに来てくれた人が希望を持って帰ることが出来るように。」そうだよな。一人納得して、心穏やかに立ち去る。さながら街角の聖域だ。

そうなのだ。「掲示板・告知・聖時間」。掲示板での告知はささやかでも、街角の聖域として二十四時間、道行く人々に福音の明かりをともし続ける。思わず立ち止まって顔を向けたくなるような教会掲示板

がある。蛇足だが、先ずは、信者一人ひとりが「毎日出会う人々が希望を持って帰れる『歩く掲示板』になること」かな。



### +KABAYAN SEKSIYON+ "Ang Lumang Tipan"

Nalaman na natin ang kahalagahan ng Banal na Kasulatan, na ito'y mga Salita mismo ng Diyos. Ang sinumang nakikinig at tumatanggap sa mga Salita ng Diyos ay magkakaroon ng buhay na walang-hangang sa kanyang kalooban o puso. Ngayon alamin natin ang unang bahagi ng Banal na Kasulatan na tinatawag na "Lumang Tipan". Ang Lumang Tipan ay hindi pwedeng ipagpaliban na kabahagi ng Banal na Kasulatan. Ang mga aklat na ito ay inspirado ng makapangyarihan Dios at pinapanatili ang kahalagahang permanente; dahil ang Lumang Tipan o dating Tipan ay hindi napawalang saysay. Subalit, "ang ekonomiyang plano ng Lumang Tipan ay binigyang malalim na kaalaman para sa paghahanda at ang pagpapahayag ng propesiya ng pagdating ng Kristo, ang tagapagligtas ng buong sangkatauhan." "Kahit nga may nakapaloob na mga bagay na hindi perpekto at may kondisyon," ang aklat ng Lumang Tipan ay nagsasaksi ng kabuoan dionson na pagtuturo ng pagliligtas na pagmamahal ng Diyos: ang mga kasulatan na ito ay "nagtatago ng pagtuturo sa Diyos at ang matinding karunungan sa buhay ng tao, at ang kahanga-hangang kayamanan ng panalangin; at ang isa pa ang misteryo ng ating kaligtasan na ito ay presente sa natatagong paraan.

Ang mga Kristiyano ay nagbibigay galang sa Lumang Tipan bilang tunay na Salita ng Diyos. Ang Simbahan ay palaging may matatag na pagkontra sa mga kaisipang kumontra sa Lumang Tipan sa ilalim ng pretekto na ang Bagong Tipan lang ang may halaga.

Kaya mga Kababayan, huwag tayong magpadaya o magpadala sa ibang tao na nagsasabing ang Lumang Tipan ay di na kailangan at ang Bagong Tipan lang, mag-ingat tayo. Kung hindi natin pag-aaralan at bigyan-pansin ang Lumang Tipan ay hindi rin natin mauunawaan ang buong plano ng Diyos Ama para sa kaligtasan ng buong sangkatauhan, at ang pagdating ng Kanyang Salita na naging laman at nakiisa sa atin, si Jesukristo ang Panginoon natin. Ito rin ang pagkakataon na magkaroon tayo ng panahon at oras sa pagbasa ng Banal na Kasulatan...!

### 列福式への心づくり挑む

#### ロウソクリレーミサで教区の青年たち

三月三十日(日)川内教会で「ロウソクリレーミサ」がささげられた。このミサは長崎の青年たちで組織する「青年列福準備会」が、一つのロウソク(証し灯)を全国の青年たちでリレーしミサ



をささげること、心をつなぎ十一月の列福式に向かうという狙いから計画されたもの。二月二十四日(日)長崎大司教館聖堂で祝別されたロウソクは、三月二十九日(土)長崎の青年たちの手によって薩摩川内市まで運ばれた。この証し灯を託された

教区の青年たちは、ミサを少しでも有意義なものにしようとして、ロウソクが届けられたその日、長崎から足を運んでくれた青年たちと一緒に川内教会からレオ七右衛門が受洗した京泊教会の跡地までの十一キロを徒歩巡礼し、レオの心を味わうチャレンジをした。その成果もあってか郡山司教司式でささげられた三十日のミサには百人余の信者が参列し、青年たちの願いが実現するよう皆が心を合わせた。

### イタリア製ピエタ像を設置

#### 納骨堂のある大島地区長館敷地内に

大島地区長館敷地内に、等身大に近い「ピエタ」像が設置され、三月二十一日(金)小限憲士地区長によって祝別された。

ピエタはイタリアのルネッサンスを代表する巨匠ミケランジェロの傑作の一つで、本物はバチカンのサンピエトロ大聖堂に置かれている。今回、大島



大島地区長館に設置された像

地区長館敷地に設置されたのはそのレプリカで、前地区長の夫野和夫神父がイタリアから取り寄せたもの。十字架の道行き第十三留を描き、十字架から下ろされた亡くなったキリストを聖母マリアが膝の上に抱き、悲痛に満ちた忍従の姿を表現している。この像が大好きだという

### 門田 明氏の

#### 鹿兒島とキリスト教②

#### E・ラゲ神父

一五四九年八月十五日、フランシスコ・ザビエルが鹿兒島に上陸し、日本にキリスト教を伝えた。その後多数の宣教師が日本にキリストを運び、禁教令が下された後も、信徒から信徒へ教えが広まっていった。前回は若くして牢死した宣教師シドッチについて話したが、今回はE・ラゲ神父について話したい。

もう四十年以上も昔のことになるが、初めて鹿兒島の土を踏んだとき、最初にフランシスコ・ザビエルとラゲ神父の名に触れる機会があった。ザ

ビエル教会を訪れると、ザビエルの壁画などと一緒にはガラスの箱の中に、ラゲ神父を記念する資料が保管されていた。ラゲ神父を知ったのはこれが最初だったと思う。その後それほどラゲ神父について勉強することもなかった。父について勉強することになった。われながら迂闊なことだったと今になって思うが、参考書を頼りにここで学んでゆきたいと思う。

ラゲ神父は一八五四年、ベルギー西部のトゥールネー市に生まれた。神学校で学んだ後、一八七七年パリ外国宣教会に入会し、一八七九年二十五歳で司祭になると、すぐ日本に渡った。けた外れの記憶力でたちまち日本語が自由に使えるようになり、北九州を中心に宣教活動を行った。一八八九年、信教の自由を掲げた明治憲法が公布され

ると、クザン司教は九州の宣教をラゲ神父に一任した。その頃鹿兒島では島田喜蔵神父が旅館の一室で布教活動を始め、一八九六年島田神父の後継者として、ラゲ神父が着任した。鹿兒島での彼の仕事で特筆されるのは、石造りのザビエル聖堂の建設と七高教授小野藤太の協力で実現した仏和辞典の編集、『新約聖書』の翻訳である。残念なことには聖堂は、日米戦争の最中の空襲で、石の外壁だけを残して炎上し、長く残骸をさらしていた。今、その石の一部分がザビエル公園に移設され、昔を偲ばせている。こうして彼の事跡を振り返るとき、彼の名が人々の心の中にもっと蘇って欲しいものだと思う。(玉里教会信徒・ザビエル上陸顕彰会会長)

大野神父は「大島地区長館敷地にある納骨堂を訪ねてくる人々にこのピエタを見て『キリストは私の罪のため十字架にかかって亡くなられました。この思いを常に私の心に保たせてください』という祈りを唱えてもらえたら嬉しい」と語っている。(平 三國通信員)

### ついに石柱立つ

#### 旧ザビエル教会

二〇〇七年四月十五日に発足した旧ザビエル聖堂再生プロジェクトは四チーム構成で動き出している。そのうち「チーム1」は市民とともに聖堂再生を進める「再生コミュニケーション(労働・技術)で、毎週水曜日と土曜日をボランティアの日と定め、昨年から石段・石柱に付いたモルタル落としを始めた。そして石工事が始まった一月十日までに延べ二百七十四人が参加し、三月三十一日作業を終え、その後、石段と石



柱を組み立てた。そしてその立柱式は御受難会宗像修道院で四月六日(日)に鈴木忠一神父司式で行われ、鹿兒島からも三十四人が駆けつけ、喜びを分かち合った。(報告・土田充義)

### 四條淳也さん 祭壇奉仕者に

三月二十三日(日)カテドラルでのミサの中、喜界島在住の四條淳也さんが祭壇奉仕者に選任された。



聖器具を受け取る四條さん

### 黙想会のご案内

テーマ 教会ってなあに  
講師 山元 眞神父(福岡教区・行橋教会主任司祭)  
日時 6月3日(火) 10時~15時  
場所 ザビエル教会  
主催 レジオマリエ・鹿兒島コミチウム  
※どなたでも参加できます。お待ちしております。

### 列福式ロゴに込められた思い



ロゴ全体は日本の「J」と「舟」を表している。下のラテン語は「波」をイメージし、福音が宣教師たちによって日本にもたらされたこと、そして日本の教会が神の国の完成に向かって

海原を進んでいる姿を象徴している。上方の白抜きの円はイエス・キリストの聖体を表すと同時に、無力(0=ゼロ)な赤子の姿でこの世に来られたキリストの受肉の神秘、受難、死、そして無限を意味している。そのキリストの聖体を188人の殉教者が両手で支えるように囲み、下方中央の魚のイメージで描かれたキリストが188人を支え生かしている。

### 5月

#### 今月の暦

- 3日(土) 聖フィリポ 聖ヤコブ使徒
- ▼司教の古仁屋教会訪問・4日まで
- 4日(日) 主の昇天
- 9日(金) レジオマリエ鹿兒島コミチウムのアチエス・ザビエル教会・13時30分
- 11日(日) 聖霊降臨の主日
- ▼看護協会の血圧測定と健康相談・鴨池教会
- 13日(火) 経済問題評議会・教区本部・10時
- 14日(水) 聖マチア使徒
- ▼九州地区司教会議
- 15日(木) 奄美司教会
- 16日(金) マリッジエンカウンター・マリア山荘・18日まで
- 17日(土) ベルナルディーノ神父叙階記念日(一九九八年)
- 18日(日) 三位一体の主日
- ▼宮原良治司教着座式
- 25日(日) キリストの聖体
- ▼教区司祭地区財務委員会・教区本部・14時
- ▼典礼研修会・ザビエル教会・13時30分
- 28日(水) フリチエル神父霊名(ウイルヘルム)
- 30日(金) イエスのみ心
- ▼ダウンク神父叙階記念日(二〇〇七年)
- 31日(土) 聖母の訪問
- ▼パッションの会巡礼・6月1日
- ▼ドゥンク神父叙階記念日(二〇〇七年)
- ▼タム神父叙階記念日(二〇〇七年)

# 奄美大島で初の理事会

## 日本カトリック女性団体連盟

三月十一日から十三日まで、「日本カトリック女性団体連盟」(深堀冨子会長)は、奄美大島で全国理

事会を開催しました。今回の理事会では、新年度の行事計画、予算案、中間決算案等が三日間にわたり熱心に話し合われました。

更に今秋十月に開催される「アジア太平洋地域会議」(二〇〇八)に向けての日力連の活動に関して意見調整が行われました。

十二日の午後からは「いのちを守る運動」の啓発講演会が行われ「奄美カトリック女性連盟」の会員以外の方にも参加を呼びかけたこと



宮原司教の講話を熱心に聞く

ろ、二百人余の参加者がありました。講師にお迎えした日カ連の宮原良治司教様は「家庭について」の演目で、家庭を愛の源とし、愛とは大切なことを示すこと、何かを大切にすると何かを犠

牲にしなければならぬなどと説かれました。その後「すべての子供にチャンス」の演目で、地元で二十六年にわたって青少年のさまざまな問題の解決に取り組みでられる「ゆずり葉の郷」三浦一広所長の講演が行われ、聴衆に大きな共感と感動を呼び起こしました。

最終日の十三日には理事会の会場となった聖心教会うちに終わることができました。(報告・久保正子)

## 殉教者の思いを学ぶ

### 恒例の中高生春の巡礼

毎年恒例の中高生の巡礼(三月二十六日〜二十八日)を無事に終えることができました。

今回の巡礼は、十一月の一八八殉教者の列福式を前に川内、天草、熊本、八

代の二八殉教者の地を「殉教者の思いとは…」というテーマのもと実施した。参加人数は少なかつたが、初めて参加した人たちも殉教者について知ることができ、もっと知りたいとの声

が聞かれました。また、貴島大神学生も参加し、本人にも中高生にもいい刺激になったように思う。(報告/泉 浩二神父)

もあがるほどだった。また、貴島大神学生も参加し、本人にも中高生にもいい刺激になったように思う。(報告/泉 浩二神父)

## 文芸

### 俳句 (思川俳句会作品)

#### 市来房枝選

鹿兒島 徳永ノブ子

夜のミサ終へて見上げる月朧

(評) 四句節の夜のミサにあずかられた充実感が伝わってくる佳作

出水 遠竹 睦郎

公園の展望台や青葉風

(評) 春の息吹を「青葉風」と旨く表現された一句。

純心学園 山頭 信子

隠岐島の友のみやげの蜷かな

(評) 思いがけない隠岐島のおみやげに感動された一句

国分政 ノブ子

幼な子の団栗眼春の風

出水 沖 弘子

舞い上がる落花をさらに風追いて

純心学園 川上 和

春めくや野菜フェスタの五日市

鹿兒島 春山マリ子

散り初めし桜の舞ひに佇めり

短歌 (思川短歌会作品)

市来房枝選

満開の桜愛でつつ青春の入学式の思ひ出過ぎる

(評) 桜の花に因んで青春を回想された一首

出水 遠竹 睦郎

不知火の青き海辺を眺めつつ新幹線の写真を撮りたり

(評) カメラを手に美を追求される姿勢が尊い。

純心学園 川上 和

エマオへと去り行く弟子の道ずれに

論しにさとす春の夕暮れ

(評) 聖書の中の印象的な情景を詠まれた一首。下の句を少し具体的に「聖書を解きし復活のイエス」としてみた。

大 口 森 博伸

パウロよりペテロが好きとつぶやいた老いし司祭の便りも果てぬ

鹿兒島 前田 儀子

得るものと失へるもの縋ひめぐる復活祭の夜の遠雷

## 第十六回曲水の宴に 市来房枝さんが参加



四月六日(日)鹿兒島市吉野町の「仙巖園」で開かれた曲水の宴に、思川俳句会・短歌会の選者を務め下さっている市来房枝さん(国分教会信徒・歌誌「鹿兒島アララギ」同人)も参宴者として招かれ、この日のお題「火」で次のように詠んだ。

境内に篝火はせる音のして  
佐藤しのぶのアヴェ・マリア聴く(霧島かがり火コンサート)

曲水の宴は、上流から流された酒杯が前を通り過ぎる前に詩歌を作り、盃を取り上げて酒を飲むという風流な宴。参宴者は直垂(男性)、小袖五衣(女性)という武家の礼装で宴に臨み、絵巻のような優雅な儀式で観衆を魅了した。

ました。そのわけは、日本に一八八人も殉教者がいてキリスト教を守り抜くという意志をもって、自分たちが首を切られることになっても自分たちの意志を変えたいと生きていたことに感心しました。その殉教者がいた殉教地を三日間通して川内、天草、熊本、八代と回り、川内にはレオ税所七右衛門、天草にはアダム荒川、八代には南五郎左衛門、その他の信者にも殉教者がいたことを知りました。

この三日間、殉教者のことを学びながら寝泊りさせ

ました。五月十八日(日)に予定されてい

ウロに「近ごろ神様のことばかりを考えずにはいられませんか」と打ち明けたことなど。信者であった期間は僅か三か月と二十日しかなかったのに、彼の信仰はとて深く、それゆえ殉教は、最高の喜びではなかったのだろうか。

三日目、八代教会に向

かった。そこには南五郎

左衛門と彼の家族の石碑が

あった。そこには十三歳と

五歳の少年の名前も刻まれ

ており、本当に信仰のため

だけに命をささげただけだ

と痛感した。改めて殉教

者に対して尊敬の気持ちを持

った。

最後に、殉教者とは…? 自分

## 出水教会献堂50年行事日程変更のお知らせ

五月十八日(日)に予定されてい

ました。五月十八日(日)に予定されてい

ました。五月十八日(日)に予定されてい

ました。五月十八日(日)に予定されてい

ました。五月十八日(日)に予定されてい

ました。五月十八日(日)に予定されてい